

中大規模木造建築物の参考になる 事例集を作りました

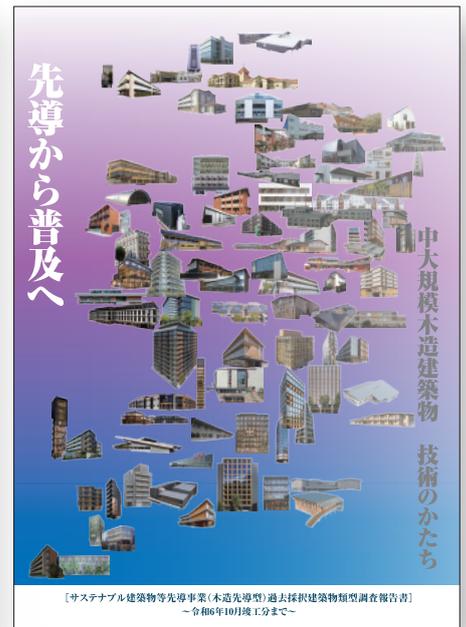
令和7年度
国土交通省
補助事業

国土交通省の補助事業として、平成22年度から「木のまち整備促進事業」に始まり、現在は挑戦的な特殊な技術だけでなく、普及させるための技術が求められるようになっていきます。令和2年度からは、都市木造のさらなる普及のために「普及促進枠」が設けられ、率先して普及のための技術整備も支援され、現在は優良木造建築物等整備推進事業「先導枠」「普及枠」として事業を展開しております。

以下で紹介する冊子は、先導的な技術として実際に立てられてきた建物・その技術と、実際に普及している木造建築を理解する上で参考となる事例が多く紹介されています。

配布する冊子には限りがございますが、以下URLから参考となる事例をダウンロードすることが出来ます。

<https://yuryo-mokuzou.mlit.go.jp/>



国土交通省補助事業、
優良木造建築物等整備推進事業「先導枠」

木造化・木質化を進めて 木のまちをつくろう

本書では、平成27年度から令和6年度に実施した「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」及び「優良木造建築物等整備推進事業「先導枠」で採択された事業について掲載した。（昨年度までに竣工済みの掲載事例については一部簡略版としている。）

国土交通省補助事業、
優良木造建築物等整備推進事業「普及枠」

「木のまちをつくろう」 ～木でつくる様々な中大規模建築物～

本書では、令和4年度から令和6年度に「優良木造建築物等整備推進事業（普及枠）」で採択され、竣工した事業について掲載した。（※本事業報告書（事例集）は今年度より作成する）

国土交通省補助事業、サステナブル建築物等
先導事業（木造先導型）過去類型調査報告書
～令和6年10月竣工分まで～

先導から普及へ 中大規模木造建築物 技術のかたち

本書では、先行事例から建築計画段階でも中層大規模木造建築を構成するための平面計画、立面計画、混構造を含む構造形式を共有すると共に、どのような規模、用途の建築が、どのような工法の木造建築がむいているのかを整理した。本報告書が、今後の都市木造プロジェクト創出のための基礎資料となることを期待している。（はじめに抜粋）